

<発言者>

<項目・内容>

委員長

1 委員長挨拶

「最近テレビで、お寺の掲示板にいろいろ良い言葉が書いてあるという特集を観た。私が来る途中にもあり、「かんしゃくのくをとって、1日を過ごしなさい」という言葉があり、感謝の気持ちを忘れないで1日を過ごして下さいという意味かなあと思った。子供さんの句もあり、和ませてもらっている。

先日、全国公安委員会連絡会議にも出席したが、特殊詐欺対策についての話題が多かった。どこの県も共通の課題として広報活動が大事であると述べていた。その中で、静岡県の資料で草笛光子さんの話があり、電話でのやりとりについて、うまくこちらのペースに巻き込む方法など、いろいろ良い勉強をさせてもらった。」旨の発言があった。

警察本部

2 議題

令和5年島根県警察運営指針・重点目標（案）

令和5年島根県警察運営指針・重点目標（案）について説明があった。

警察本部

3 報告

(1) 令和4年度全国警察逮捕術大会及び全国警察拳銃射撃競技大会

「令和4年度全国警察逮捕術大会が令和4年11月24日に警視庁術科センターにおいて、全国警察拳銃射撃競技大会が同月25日に同所において、それぞれ開催された。大会出場県警察は、皇宮警察本部及び各都道府県警察であり、本県は団体の第3部と個人の部に出場した。全国警察逮捕術大会の結果は、予選リーグが1勝1敗、準決勝リーグは1勝1敗であった。個人の部は、女子特別試合において1回戦敗退であった。全国警察拳銃射撃競技大会の結果は、団体第3部において優勝した。個人の部では、制服警察官用拳銃の部で52位、私服警察官用拳銃の部で12位、センター・ファイア・ピストルの部で優勝、女性制服警察官用拳銃の部で6位と18位であった。」旨の報告があった。

委員

[意見]「それぞれ素晴らしい成績で、今までの訓練の成果であると思う。ますます磨きをかけてもらいたい。」

委員

[意見]「大変心強い。組織全体の技術向上につながるようお願いする。」

委員 [意見]「平素の訓練をしっかりとやってもらいたい。県警の力の底上げ、ひいては市民の安全安心を守ることになる。」

## (2) 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律違反被疑者の逮捕

警察本部 「被疑者は54歳の男性で、飲食店を経営する会社の役員として、同社が経営する複数の飲食店で、18歳未満であるA女、B女、C女の3人を雇用し、客に接する業務に従事させたものである。令和4年11月26日、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律違反の罪で通常逮捕した。」旨の報告があった。

委員 [意見]「逮捕できて良かった。コロナ禍も影響していると思うが、経営する側も雇われる側もきちんと考えて生きてほしい。」

委員 [意見]「少女たちの不安定な生活が想像される。家庭環境を含め、大人の在り方を考えさせられた。」

委員 [意見]「同様な事案が繰り返されないように、しっかり摘発してほしい。少女達の生活がどうだったのか心配するところであり、こちらの指導も願う。」

## (3) 鳥根県警察サイバーセキュリティ競技大会の開催

警察本部 「令和4年11月14日、警察本部及び各警察署において、鳥根県警察サイバーセキュリティ競技大会を開催した。出場チームは、本部A警察サイバーセキュリティ競技大会を開催した。出場チームは、で構成し、各警察署との合計14チームが出場した。競技内容は、1チーム3名編成とし、画像情報からの場所の特定や、通信記録の解読による発信元情報の特定など全23問の課題を出題した。競技時間中における正答数とその早さで総得点を競うものである。大会結果は、優勝が本部A、準優勝が浜田警察署、第3位が松江警察署であった。」旨の報告があった。

委員 [意見]「このような大会をやることで、高度な技能が示される場所として良い刺激を与えられるかと思う。」

委員 [意見]「初開催、様々な部門がやることに意義がある。様々な場所で役立てて行かれるものと思う。」

委員 [意見]「競技会は、技術向上のためには良い手段である。」

## (4) 鳥取県警察本部交通部高速道路交通警察隊等との合同訓練の実施

警察本部 「交通事故等の事案発生時における関係機関相互の迅速的確な連携対応及び各機関に配置されている勤務経験の浅い女性隊員の対応力を強化する目的で、鳥取県警察本部交通部高速道路交通警察隊等との合同訓練を実施した。実施日時は、本年11月16日午後1時30分から午後3時までの間であり、松江市玉湯町の西日本高

速道路株式会社中国支社松江高速道路事務所敷地内で実施した。訓練実施者は、島根県警は、隊長以下10人であり、うち勤務経験1年7か月の女性1人を含む。鳥取県警察高速道路交通警察隊は、隊長以下4人であり、うち勤務経験7か月の女性1人を含む。西日本高速道路パトロール中国株式会社松江基地交通管理隊は隊長以下4人であり、勤務経験2年7か月の女性1人を含む。訓練内容は、停止誘導旗取扱要領として、高速道路上で統一した停止誘導旗の旗振り要領の動作を確認した。また、危険回避訓練として、交通管理隊所有の資機材であるeサイレンを使用し、突入車両があった場合の回避訓練を行った。交通規制訓練として、車両単独事故現場における、交通規制要領の確認と車両撤去要領を確認した。訓練の効果としては、関係機関相互の役割を確認し、迅速な連携強化を図ること、各関係機関それぞれの装備資機材の活用方法を確認し、理解を深めること、女性隊員との現場活動において、それぞれの役割を確認することなどの重要性を認識した。」旨の報告があった。

- 委員 [意見]「女性は体力的に大変な面もあると思うが、日々の事故、事案を素材にしっかり考えて対応できる警察官になってもらいたい。」
- 委員 [意見]「しっかり訓練、役割を確認し、事故のないように適切に誘導してもらいたい。」
- 委員 [意見]「女性警察官は増えていくものと思うが、男女の特性があるので、訓練等で見極め、適材適所に置くことが重要である。」

#### 4 話題

##### 情報通信に関する資機材展示会及び巡回教養の実施

警察本部 「情報通信部では、情報通信に関する資機材展示会及び警察署に対する巡回教養を実施した。資機材展示会は、本年10月26日、警察本部7階聴聞室において実施した。展示会では、機動通信課及び情報技術解析課が保有する各種資機材の展示及びデモンストレーション等を行った。また、巡回教養は、本年6月10日から9月29日までに、県下12警察署に対して実施した。教養内容は、無線機等各種資機材の活用要領と運用方法、最新の技術情報と解析技術の活用方法、警察無線局の適正な免許手続及び運用について行った。」旨の報告があった。

- 委員 [意見]「この時代の中でなくてはならない重要なものである。カメラ画像の活用要領、解析技術等周知して活用してもらいたい。」

委員 [意見]「全国レベルで同じように活用することが重要である。皆さんで共有して活用してもらいたい。」

委員 [意見]「情報を制するものが世界を制する。あれだけの装備資機材を動かせる職員がいることを力強く思う。」

## 5 本部長総括

本部長 「本日最初に説明した令和5年の運営指針について、「しなやかな」という言葉を入れさせてもらった。その趣旨は、社会情勢の変化に伴う諸課題に対して柔軟に対応していこうということであるが、今年はロシアによるウクライナ侵攻や、安倍元総理の銃撃など従来あり得ないと思われていたことが現実が発生し、改めてこれから先何が起きるか分からない時代になっていることを認識させられた。いわば前例が通用しないような事態が起こり得ることを念頭に、委員長もおっしゃられたように、職員1人1人が自分を磨いていかないといけない。例えば情報のアンテナを高くする、デジタル含め新たな技術を取り入れる、組織外の人材の力を借りる、あるいは職員のモチベーションを高める職場を作るといったことを、職員1人1人が意識するようになっていきたいと思います。引き続き委員の皆様からも御指導をいただきたい。」旨の発言があった。